

技術名 生分解性PLA土木シート	登録 No.
	20D1001

<b>施工内容</b>	
施工年度	平成23年度
発注機関	佐渡地域振興局地域整備部
工事名	二級河川大野川離島広域河川改修(護岸工・橋梁工)工事・付帯工事
施工地	佐渡市新穂舟下地内
施工数量	22.5㎡(2.5m×9m)

**新技術の概要**  
 この製品は植物を原料とした生分解性プラスチック繊維を使用した土木シートであり、通常の自然条件では最低でも2年間は所定の引張強度を保持し、その後は、徐々に分解して、最終的には無くなる特徴を持つ。

**トライアル工事での評価結果**

比較した従来技術		ポリプロピレン土木シート
項目	評価	評価内容
経済性	×	本現場では撤去の必要がなかったため、従来のポリプロピレン土木シートと比較して4倍程度価格が高い。
工程	□	従来技術と比較して工程は変わらない。
品質出来形	□	従来技術と変わらない。
安全性	□	植物を原料としているため、燃焼したときに有毒ガスが発生しない安全性の高い製品である。
施工性	□	従来技術と比較して施工性は同程度である。
環境	○	原料が植物であり、土木シートの役目を終了すると生分解して無くなることから、産業廃棄物の削減に繋がる。
その他		特になし。

◎: 優れている    ○: やや優れている  
 □: 従来技術と比べて同程度  
 △: やや劣っている    ×: 劣っている

活用上の留意点	所定の引張強度の機能保持期間を2年間程度として設計する。
---------	------------------------------

**新技術問い合わせ先**

会社名	株式会社植木組
所属部課	建設技術センター環境エンジニアリング課
担当者	原 克也
TEL	0257-23-2260



着手前(A2橋台踏掛版設置位置)



生分解性PLA土木シート敷設完了



A2橋台踏掛版基礎砕石敷均し状況